

ペタヌ山(460.8m) 豊浦町大岸

(記)山岸 2022.2.17

山行日	2022(令和4)2月11日(金、祝日)	天候:快晴 マイナス10℃～マイナス4℃、無風
山行形式	日帰り登山、スノーシュー、山スキー	
参加者	CL澤田シュウ、A班スキー:L武川、S水江、笹山、太田、竹内、八重樫、山岸 (7名)	
	B班シュウ:L戸島、S川村、小笠原、栗山、笹原、鈴木、津川、及川 (9名)	16名

伊達道の駅に7:00集合。豊浦大岸の事前予約した農家に車5台駐車させてもらう。大雪も綺麗に除雪されて感謝する。

今年の豊浦は大雪で農家の煙突に大きな雪のブロック！
いつ落ちるか近寄らない様注意。

道々を少し歩き雪壁回廊(約1, 2m)を登ったペタヌ川右岸林道入口でOGさんのまたユニークな体操、各班毎リーダーのビーコンチェックし、スキー班先頭で歩き出す。事前偵察で相当なラッセルを覚悟してたが20cmの粉雪その下は締まっていた難なく、歩け、1時間弱の林道歩き。C250mから右手の尾根にあがる。少し急登と木が混んでて難儀する、がそこは広大な一枚バーンスキー班には帰りが楽しみ。クラフトの斜面だが、帰りには



車を駐車した農家、煙突注意

時刻	場所・状況・行動
8:30	林道登山口
9:40	右側尾根取り付き
10:30	C406ピーク
10:55	C450スキーデポ
11:10	頂上
	C406ピークで昼食
12:00	下山開始
12:45	登山口駐車場着(スキー班)
13:15	登山口駐車場着(スノーシュー班)
登山hr	登り 2:30
	下り 1:15

日が照ってるので心配ない。車を駐車した農家、煙突注意

C406ピークより林の中ヘジグを切りながら突入、2番目の1枚バーンを進み又急登の混んでる林の中、スノーシューは前爪を生かし突き刺しながら直登、残念ながらスキー班はC450mで混んでる木々を考慮しスキーをデポ。

スノーシューの踏み跡を利用しつぽ足で急登を登りきる。

15分遅れてスキー班頂上着、頂上標識は木から落ちている積雪の中、スノーシュー班は余裕の中、全員で登頂記念写真を撮り、C406ポコで昼食となり、スキー班がデポ地まで先に降りしールを外し林間の急斜面を慎重に滑り降りる。

転倒者何人か？木にしがみつく者など悪戦苦闘

先に着いたスノーシュー班と一緒にソーシャルデスタンス

を取り、日差しの中、大展望をオカズにモグモグタイム
今、登った頂上を左に右回りに
昆布岳、羊蹄山、尻別、徳舜、ズート右に黒松内岳？
至福の時間はすぐ過ぎる
下山です、最初一枚バーン
目指して降りるんですが、又
木が混んでいるが、皆、難儀
している中、下にO嬢が！
帰りの林道は楽ちん、トレース



OGさん指導の体操



Mさん抜かして、スノーシュー班です



平たい頂上で全員記念写真「ハイピース」



スノーシュー班 林道分岐から林の中、1枚バーンへ跡を滑り降りた。スノーシュー班を待つて駐車場農家で、挨拶、解散する。

リーダー、各担務の方ありがとうございました。最後まで良い天気、楽しい山行でした。

下はリーダー提供写真



準備運動



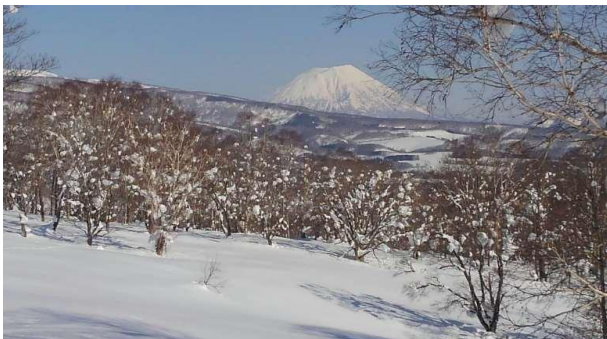
高速道路の下を通る。



斜面が急になってきたところ



頂上は右方向



羊蹄山がきれい



斜面の先が頂上



頂上から見た豊浦町礼文華

※高速道路斜面下の脇に角を生やしたエゾシカが横たわっていました。影響大なので写真は割愛です。（写真提供 澤田）



全員初の登頂